

グループワーク報告書

目的：自らの活動を振り返ることにより、自己の成長の可視化をはかる
仲間（他グループ含む）の活動内容の共有、得たものの共有、学びの可視化

時間	内容
12:35	各グループにて、お昼しながら、意見交換
13:20	グループ発表 活動内容の報告
13:50	グループワーク 議題 A： ・ 受け入れ先（地域）が私たちに求めているもの （Vを受け入れる背景） →私たちが、貢献できたこと／できなかったこと 議題 B： ・ 私たちが受け入れ先（地域）に求めているもの →受け入れ先（地域）が満たしてくれたもの／満たされなかったこと
14:20	まとめ 発表
14:35	グループワーク 議題：「地域の活性化に私たちができること」 ※フィールドを広げる
15:20	まとめ 発表
15:50	職員からのサプライズ！ ・ 農家の方々からのメッセージ
16:00	個人記述（アンケート・お世話になった方々へ）
16:30	帰宅準備

議題：A「受け入れ先（地域）が私たちに求めていたもの」

→それに対し私たちは貢献できたか／できなかったか

A「受け入れ先（地域）が私たちに求めていたもの」

- ・ 命の大切さ・つながりを知ってもらう
 - ・ 食の大切さを知ってもらう
 - ・ 自給自足への理解
 - ・ 自然環境の大切さを知ってもらう
 - ・ 農業の厳しさを知ってもらう
 - ・ 自分たちが築いてきたものを知ってもらう
 - ・ 地域のよさを知ってもらう
 - ・ 一人ではできないこともみんなですればはげましあってできること
 - ・ 学生の経験値のUP！
-
- ・ 人手不足の解消
 - ・ 若者との交流
 - ・ 学生から得られる新しい発想
 - ・ 若い力と活気
 - ・ 現状問題の解決

→それに対し私たちは貢献できたか／できなかったか

- ・ 私たちが来ることによって、普段高齢の方がただけではできないことができた
- ・ 農業での人手不足が短期間でも解消することができた
- ・ 牛乳1つできることの大変さを知った
- ・ 様々なきっかけづくりができた



議題：B「私たちが受け入れ先（地域）に求めているもの」

→それに対し受け入れ先は満たしてくれたか／満たしてくれなかったか

B「私たちが受け入れ先（地域）に求めているもの」

- ・ 日常生活では体験できないこと
- ・ 新しい体験と発見
- ・ 田舎暮らし
- ・ 親しみやすい場所
- ・ 思い出に残る何か
- ・ 動物との触れ合い
- ・ おいしい空気
- ・ 心のいやし
- ・ 地域の方々との交流
- ・ チームワーク
- ・ 友達づくり
- ・ 違った価値観を学ぶ
- ・ 農業の厳しさを知る
- ・ 行動力を UP させる
- ・ 命の大切さを学びたい
- ・ 漆器に対する理解
- ・ 都会とは違う生活の方法
- ・ 若者の人口減少の実態を知りたい
- ・ 農業とはどういうものか地域の人達と一緒に作業して知りたい



→それに対し受け入れ先は満たしてくれたか／満たしてくれなかったか

- ・ 歓迎してくれた
- ・ 仕事を与えてくれた
- ・ 様々なことを教えてもらった
- ・ 高齢者の方々と触れ合うことが十分にできたため、想像以上に高齢化が進行していて重要な問題なのだということが分かった
- ・ 私たちに分かりやすく教えていただいたので、たくさん得るものがあった
- ・ 普通ではできないことができた
- ・ 星がきれいでした心満たされた
- ・ 考え方の違いを学べた

- ・ 満たしてくれなかったことはないが、滞在期間が短すぎた

以上2つの議題と、各グループの意見なども取り入れ、実現可能・不可能に関係なく以下の議題に取り組む

最終議題：「地域の活性化に私たちができること」

- ・ 行政や学校などの団体が地域からのボランティアの受け入れ体制を積極的に推進する
 - ・ 自分の口で体験したことを周りの人に伝え、その機会を増やす
 - ・ 地域の環境を整える
 - ・ ボランティアに参加した人が積極的に皆に広げる・宣伝する（HP、mixi、学校）
 - ・ ボランティアの機会を増やす（旅行会社と提携、CSR）
 - ・ 自らの知識を増やす
 - ・ 友人に声をかければ団体で行かなくても気軽に手伝いができる
 - ・ まず行って知る必要がある！
 - ・ 若者の移住（若者が利用するような施設があれば移住しやすいが、作りすぎたら自然のよさがなくなってしまう）
 - ・ 個人的に何度も訪れることでも活性化
-
- ・ 福井県のシンボルを増やす（シンボル・プラネタリウム・観光マップ・交通網の整備）
 - ・ 福井で何か目玉になるイベントをつくる（雪祭りや海水浴など）
 - ・ 福井以外でも過疎が進んでいるところも人の集まる企画・広報を
 - ・ 今回のようなワークステイの機会を増やす
 - ・ どんな仕事を知ってもらう
 - ・ 都会の子ども・学生に農業を知ってもらう活動を！
 - ・ ふるさとワークステイ（現地までの交通費の負担）
 - ・ 道の駅のようなドライブツーリングで利用できる施設の増加
 - ・ 大企業にきてもらう
 - ・ 雪かきする人を雇う
 - ・ 福井県からのアピール強化

